



FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

フィンテック グローバル株式会社



第 22 期

事業報告書
2015.10.1~2016.9.30

社会に必要とされる企業であり続けるため、 2017年9月期はストラクチャード・ファイナンス に経営資源を集中し、 各種施策を展開いたします。

当社の投資銀行事業は、投資銀行業務と企業投資の両輪で構成されています。

2016年9月期におきましては、企業投資の大型回収の予定がなく、投資銀行業務における不動産証券化をベースとしつつ、太陽光発電事業を対象としたプロジェクトアレンジを含むアセット投資に注力いたしました。しかしながら、アセット投資で期初9億円の粗利を見込んだものの、これが2億円にとどまったことで、大幅な損失を計上する結果となりました。この要因は、アセットの投資・回収を短期間でを行い資金を回転させて利益を獲得する期初の計画が、プロジェクト獲得競争の激化により取得が難しくなったことや、売却が進まざ資金回転が低下したことにあります。この環境変化に対して組織的対応が遅れたことも、要因の一つであります。

この損失によって、誠に遺憾ではございますが、期末配当を見送りとさせていただきます。株主の皆様へ深くお詫び申し上げます。当社はこの結果を真摯に受け止め、2017年9月期は創業以来の当社の強みである、ストラクチャード・ファイナンスに経営資源を再集中し、下記の各施策を展開いたします。

まず初めが、不動産証券化です。不動産証券化のアレンジメント案件数・組成額は年々増加しており、アセットマネジメント受託資産残高も109億円になりました。対象資産はヘルスケア施設が中心であり、高齢者向け住宅の絶対的な「量」の不足や、地方都市の中心市街地空洞化といった課題に対する方策として社会的ニーズは高く、今後も成長が見込まれます。当社グループは、案件をまとめた私募ファンド組成を計画しており、この分野への資金供給を通じて社会的課題の解決に貢献します。次に公共関連事業ですが、自治体の公会計本格導入、公共施設老朽化に対応する資産マネジメント等のビジネスチャンスに対応していきます。2016年11月にグループ会社

の資本増強及びM&Aを実行し、公共事業部門の体制を強化しました。これは当社の投資銀行業務の公共分野への進出の大きな足がかりとなるものであります。

「メッツァ」については基本設計まで終了しましたが、2016年12月6日の取締役会で、開業時期を当初予定の2017年から「メッツァビレッジ」開業を2018年秋、「ムーミンバレーパーク」グランドオープンを2019年春に変更することを決議しました。これはメッツァのコンセプトを十分に体現する施設等とするためには、広大な敷地に対するインフラ設備の構築や開発に係る協議等を含め、当初の想定より長い開発期間及びその他の準備期間を設定する必要があるという結論に達したためであります。開業を心待ちにしていた皆様には申し訳ありませんが、ご理解の程、お願い申し上げます。別添の冊子をご高覧頂き、少しでもメッツァの世界観をお楽しみ頂ければ幸いです。

当社グループは、多くの産業や地域社会との密接な関係のもと、事業展開の場を広げ複合的にプロジェクトを推進しております。投資銀行の本来の社会的役割と存在意義を再認識して、社会の期待と信頼に応えられるよう、役職員一同、鋭意努力を重ねてまいります。何卒一層のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2016年12月
代表取締役社長

玉井 信光



投資銀行業務と企業投資の両輪で企業の成長、地域社会の発展を支援
 することで社会に必要とされるサステナブルな企業を目指します。

投資銀行事業

FAM FGI FGT

投資銀行業務

企業投資

投資銀行業務
各種プログラム

- ストラクチャード・ファイナンス
- 不動産証券化
- プロジェクトアレンジ
- アセット・マネジメント
- ファンドレイズ
- 企業再生支援
- 地域産業支援
- 財政健全化支援
- 公会計・公共財産の
コンサルティング

アセット投資

- 再生可能エネルギー施設
- 不動産関連プロジェクト
- 介護・福祉施設
- セルフストレージ

証券化・ファンド
 化組成を経て金融
 市場・投資家市場
 等のキャピタル
 マーケッツへ売却

直接投資

子会社

- ベターライフサポート
ホールディングス(株) 
- (株)ムーミン物語 
- (株)アダコテック 
- 虎ノ門ハム(株) 

事業会社

- ミュージック
セキュリティーズ(株) 
- Tube(株) 
- MDT INNOVATIONS
Sdn Bhd 
- Queen Bee Capital (株) 

合計44社

(2016年9月末現在)

ファンド投資

FinTech GIMV Fund

- (株)モフィリア 
- (株)アール・アイ 
- SFJ
Pharmaceuticals
Inc. 
- ScaleMP, Inc. 
- Histogenics
Corporation 

合計7社
 3プロジェクト

(2016年9月末現在)

収益力拡大のための基盤整備が進む

不動産証券化アレンジメントとアセットマネジメントの増加

ヘルスケア施設の開発・運営を支援

2012年より当社グループはサービス付き高齢者向け住宅など、地域の社会インフラと言えるヘルスケア施設の開発・運営に係るプロジェクトを支援しています。

事業者が継続的に施設運営できる賃料と投資家等の利回りとのバランスがとれた不動産証券化をアレンジすることで、証券化による資金調達額・受託資産残高が年々増加しています。

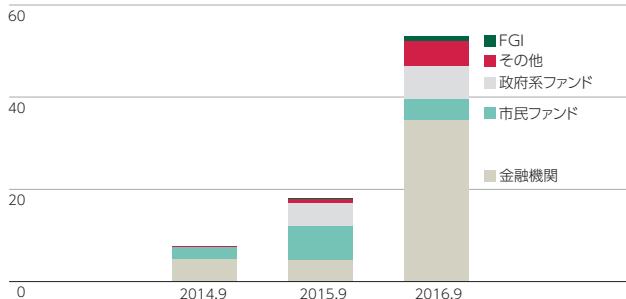
組成したファンドは、身近で地域の将来に役立つ市民ファンドとして地元証券会社が個人・企業に販売した実績もあり、これらのファンドはすべて販売予定額を達成しています。



鳥取県米子市のサービス付き高齢者向け住宅(2012年からアセットマネジメント業務受託)

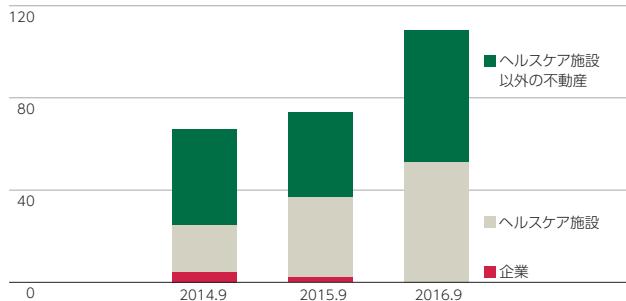
不動産証券化アレンジによる資金調達額

(億円)



受託資産残高の推移(フィンテックアセットマネジメント(株))

(億円)



公共関連ビジネスを拡充

地方自治体の財政健全化を支援

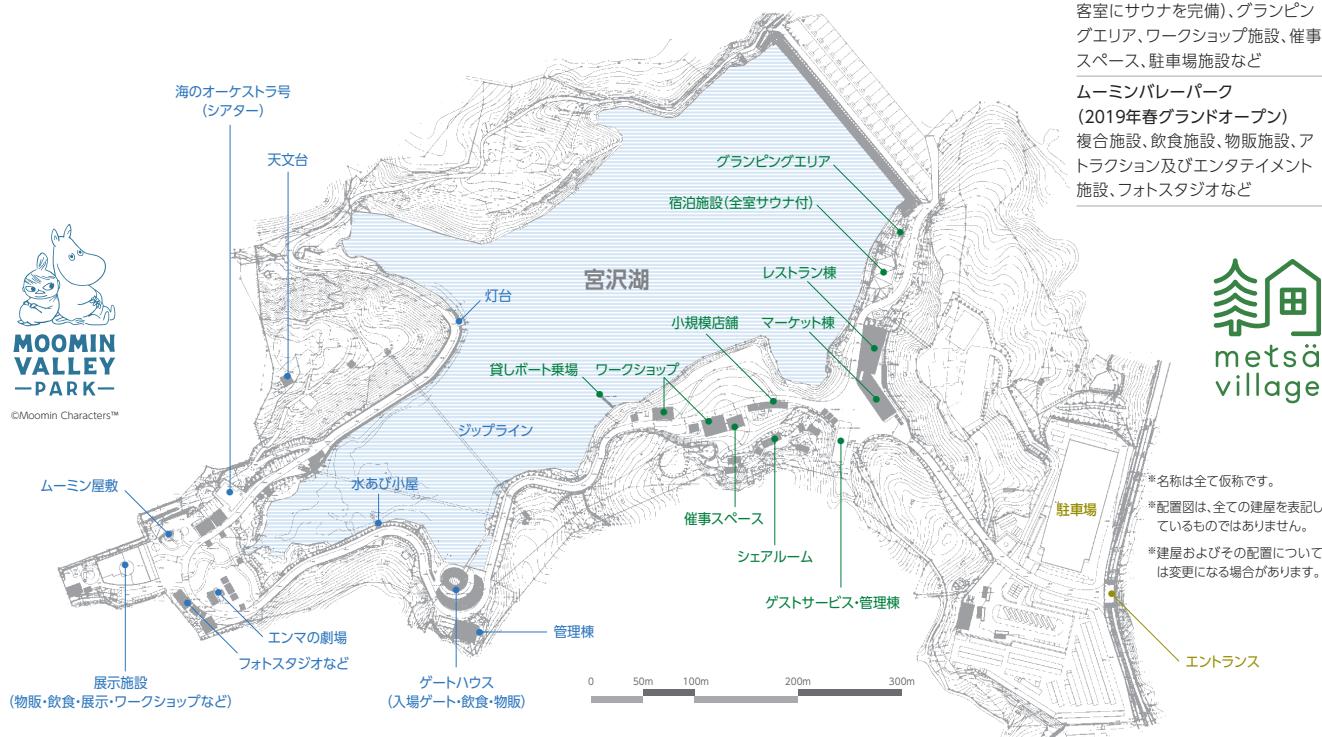
(株)パブリック・マネジメント・コンサルティングの増資を引受けるとともに、(株)新公会計研究所もグループ会社化。両社合わせて全国173自治体のコンサル実績をもつ企業集団が形成され、公共関連ビジネスが強化されました。



メツァは、基本設計が終了

当社グループは、“北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質に気づき、日常生活へと持ち帰れる場所”を目指した「メツァ」を、埼玉県飯能市の宮沢湖を中心としたエリアに開業します。メツァは、北欧のライフスタイルを体験できる「メツァビレッジ」と、ムーミンの物語を主題とした「ムーミンバレーパーク」の2つのゾーンから構成されています。

敷地面積	25.7ha (内開発予定地15.8ha)
工事予定	着工時期 2017年春
施設概要 (予定)	計画施設合計面積 約13,000㎡ メツァビレッジ(2018年秋開業) 物販施設、飲食施設、宿泊施設(各客室にサウナを完備)、グランピングエリア、ワークショップ施設、催事スペース、駐車場施設など ムーミンバレーパーク (2019年春グランドオープン) 複合施設、飲食施設、物販施設、アトラクション及びエンタテインメント施設、フォトスタジオなど



*名称は全て仮称です。
*配置図は、全ての建屋を表記しているものではありません。
*建屋およびその配置については変更になる場合があります。

今後、開発申請に向けて、
地元自治体である飯能市を含めた多くの方々とともに準備を進めていきます。



メツァ公式サイトのご紹介

メツァ最新情報についてはメツァ公式サイトをご覧ください。ティザームービーもご覧頂けます。

URL: www.metsa.co.jp

	2016年9月期 事業総括	2017年9月期 重点取り組み
	投資銀行業務における利益計画が下回り、大幅損失要因に	投資銀行業務を含む収益力が大幅に改善する見通し
投資銀行事業	<p>投資銀行業務</p> <p>アセット投資の収益が上がらず、大幅損失要因に</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アセット投資 売上総利益: 期初計画9億円⇒2億円 (プロジェクト獲得競争が激化、売却も進まず資金回転が低下) ●不動産証券化のアレンジメント案件の資金調達額は前期比193.9%増、不動産アセットマネジメントの受託資産残高は前期比52.2%増と拡大 	<p>アレンジメント売上の増加、アセット投資の回収により収益力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不動産証券化アレンジを中心に売上増: 2016年9月期 2.5億円⇒今期計画5億円 ●私募ファンドを組成し、既存受託物件売却による収益獲得 将来はリート等への売却を計画 <small>[P3トピックス参照]</small> ●大型アセット投資案件の回収(10億円超)を検討
	<p>企業投資</p> <p>期初計画の通り大型投資回収はなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ●期中にベンチャー企業4社への新規投資を実行 	成長企業への投資継続および投資回収
	<p>メツァ事業</p> <p>「メツァ」施設の基本設計が終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ウェブサイト開設の準備も進む 	<p>開業準備の進行 <small>[P4トピックス参照]</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ●2017年9月期の追加先行費用として7億円を予定
不動産事業	住宅販売の売上堅調、営業所の統廃合等によるコスト削減で黒字化	不動産eビジネスを確立し、売上増を見込む ●福利厚生サービス契約企業の勤務者1,500万人対象
その他	<p>(株)ムーミン物語:当社と連携し、メツァ事業計画を策定、検討</p> <p>(株)アダコテック:大手企業を中心に多数の引合い (動/静止画像・音・センサ信号等からの各種パターン認識 および異常検知・不具合予兆検知のソフトウェア開発・販売)</p>	<p>公共関連ビジネスのビジネスチャンスに対応 <small>[P3トピックス参照]</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社の資本増強、公共事業部門を再編

2016年9月期セグメント別業績

(単位:千円)		売上高※	営業損益
	投資銀行事業	2,485,734	349,154
	不動産事業	4,972,738	103,974
	その他	41,762	△226,850
	合計	7,500,235	226,278
	調整額	△14,348	△1,257,631
	連結損益計算書計上額	7,485,886	△1,031,352

※売上高はセグメント間取引を含む。

連結財務諸表

連結貸借対照表

科目	当期末	前期末
	(2016年9月30日現在)	(2015年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,265,216	10,507,445
現金及び預金	2,290,523	4,617,855
受取手形及び売掛金	67,723	237,393
営業投資有価証券	1,291,852	1,565,930
営業貸付金	793,762	761,902
販売用不動産	977,020	1,515,740
仕掛販売用不動産	2,693,211	1,135,958
繰延税金資産	11,628	4,342
その他	328,402	870,335
貸倒引当金	△188,909	△202,015
固定資産	2,710,409	1,450,659
有形固定資産	2,307,618	841,025
無形固定資産	90,627	129,704
投資その他の資産	312,163	479,929
資産合計	10,975,625	11,958,104
(負債の部)		
流動負債	2,772,281	3,109,925
支払手形及び買掛金	14,130	41,639
短期借入金	1,981,862	2,372,557
1年内償還予定の社債	38,000	46,000
1年内返済予定の長期借入金	115,665	163,284
未払法人税等	30,719	41,396
繰延税金負債	2,846	265
賞与引当金	50,099	42,466
その他	538,957	402,315
固定負債	1,890,459	968,294
社債	60,000	98,000
長期借入金	1,540,470	691,779
繰延税金負債	141,840	37,606
退職給付に係る負債	105,901	105,646
その他	42,246	35,261
負債合計	4,662,741	4,078,219
(純資産の部)		
株主資本	6,455,655	7,940,881
資本金	4,548,647	4,548,138
資本剰余金	2,122,245	2,125,950
利益剰余金	△215,238	1,266,792
その他の包括利益累計額	△194,875	△118,455
新株予約権	33,560	16,729
非支配株主持分	18,544	40,728
純資産合計	6,312,884	7,879,885
負債・純資産合計	10,975,625	11,958,104

連結損益計算書

科目	当期	前期
	(2015年10月1日から 2016年9月30日まで)	(2014年10月1日から 2015年9月30日まで)
売上高	7,485,886	5,429,688
売上原価	5,989,419	2,934,417
売上総利益	1,496,467	2,495,270
販売費及び一般管理費	2,527,820	2,380,246
営業利益又は営業損失(△)	△1,031,352	115,024
営業外収益	20,871	166,160
営業外費用	358,613	44,175
経常利益又は経常損失(△)	△1,369,095	237,008
特別利益	2,096	23,999
特別損失	30,773	27,578
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△1,397,771	233,429
法人税等	6,986	33,176
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,404,757	200,253
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△19,873	△24,227
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,384,883	224,481

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	(2015年10月1日から 2016年9月30日まで)	(2014年10月1日から 2015年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,305,716	△1,791,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302,421	△644,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△751,193	4,761,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,500	16,476
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,371,831	2,342,328
現金及び現金同等物の期首残高	4,612,355	2,024,917
新規連結に伴う現金及び現金同等物の 増加額	—	245,109
現金及び現金同等物の期末残高	2,240,523	4,612,355

会社概要・株式の状況 (2016年9月30日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	45億4,864万7,555円
連結従業員数	114名
連結子会社数	14社
発行済株式の総数	161,927,300株
単元株式数	100株
株主数	27,107名

役員 (2016年12月22日現在)

代表取締役社長	玉井 信光
取締役会長	ロバート・ハースト
取締役	鷺本 晴吾 (上席執行役員)
	三橋 透 (ベターライフサポートホールディングス(株)代表取締役)
	山中 秀介 (フィンテックグローバルトレーディング(株)代表取締役)
	木村 喬 (社外取締役)
常勤監査役	川崎 史顯 (社外監査役)
監査役	太田 健一 (社外監査役)
	大山 亨 (社外監査役)

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場(証券コード:8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.fgi.co.jp/ir/download/
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

フィンテック グローバル株式会社

金融商品取引業(第二種金融商品取引業、投資助言・代理業)

登録番号：関東財務局長(金商)第1469号

<http://www.fgi.co.jp/>

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28
虎ノ門タワーズオフィス 19F
Tel. 03-5733-2121 (代表)
Fax.03-5733-2124

